

科目ナンバー： 研究・CNS：MC2013／助産：MmC2013

授業コード： 6630200100

講義科目名称： 基礎看護学特論

英文科目名称： Advanced Fundamental Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎岡村典子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】 【氏名】 ◎岡村 典子	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 216	【メールアドレス】 norio@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門分野			
	研究	【DP1】 ◎	【DP2】 ○	【DP3】 ○
	CNS			【DP4】 ○
	助産			【DP5】 ○

到達目標	1. 看護学と看護実践に関する概念について、他分野の知見を含め検討し説明できる。 2. 自己の関心のある課題に関連する概念について、他分野を含む様々な知見をもとに分析検討し説明できる。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	看護学と看護実践に関する概念について、他分野の知見を含め検討する。検討を通し、看護における重要性の理由を理解する。また、自己の関心のある課題に関連する概念についても、他分野を含む様々な知見をもとに分析検討する。さらに、その概念について定義する。 授業は、各自が作成した資料に基づきプレゼンテーション・討論にて進めていく。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題・学修内容： オリエンテーション 授業の意義・学習方法の理解 ・基礎看護学特論の授業目的、内容、方法について理解する 文献検索方法の理解 ・授業の目的に基づき、文献を検索する方法を理解する 事前学修：取り上げられる概念について、自身の理解を整理して臨む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村
	2	授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の理解：「人間」「ケア・ケアリング」「援助関係」「コミュニケーション」 学修内容：①「人間」について、他分野を含む様々な知見をもとに分析し検討する。また、これらが看護学においてどのように定義できるか検討する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村
	3	授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の理解：「人間」「ケア・ケアリング」「援助関係」「コミュニケーション」 学修内容：②「人間」について、他分野を含む様々な知見をもとに分析し検討する。また、これらが看護学においてどのように定義できるか検討する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村
	4	授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の理解：「人間」「ケア・ケアリング」「援助関係」「コミュニケーション」 学修内容：①「ケア・ケアリング」について、他分野を含む様々な知見をもとに分析し検討する。また、これらが看護学においてどのように定義できるか検討する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村
	5	授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の理解：「人間」「ケア・ケアリング」「援助関係」「コミュニケーション」

6	<p>学修内容：②「ケア・ケアリング」について、他分野を含む様々な知見をもとに分析し検討する。また、これらが看護学においてどのように定義できるか検討する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村</p> <p>授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の理解：「人間」「ケア・ケアリング」「援助関係」「コミュニケーション」 学修内容：①「援助関係」について、他分野を含む様々な知見をもとに分析し検討する。また、これらが看護学においてどのように定義できるか検討する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村</p>
7	<p>授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の理解：「人間」「ケア・ケアリング」「援助関係」「コミュニケーション」 学修内容：②「援助関係」について、他分野を含む様々な知見をもとに分析し検討する。また、これらが看護学においてどのように定義できるか検討する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村</p>
8	<p>授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の理解：「人間」「ケア・ケアリング」「援助関係」「コミュニケーション」 学修内容：①「コミュニケーション」について、他分野を含む様々な知見をもとに分析し検討する。また、これらが看護学においてどのように定義できるか検討する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村</p>
9	<p>授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の理解：「人間」「ケア・ケアリング」「援助関係」「コミュニケーション」 学修内容：②「コミュニケーション」について、他分野を含む様々な知見をもとに分析し検討する。また、これらが看護学においてどのように定義できるか検討する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村</p>
10	<p>授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の理解：看護 学修内容：①「看護」について、書籍・文献等、幅広く探索し概念について検討する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村</p>
11	<p>授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の理解：看護 学修内容：②「看護」について、書籍・文献等、幅広く探索し概念について検討する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村</p>
12	<p>授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の検討 学修内容：①自己の関心のある課題に関連する概念について、他分野を含む様々な知見をもとに分析検討し定義する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村</p>
13	<p>授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の検討 学修内容：②自己の関心のある課題に関連する概念について、他分野を含む様々な知見をもとに分析検討し定義する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村</p>
14	<p>授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の検討 学修内容：③自己の関心のある課題に関連する概念について、他分野を含む様々な知見をもとに分析検討し定義する 事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村</p>
15	<p>授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討論 学修課題：概念の検討 学修内容：④自己の関心のある課題に関連する概念について、他分野を含む様々な知見をもとに分析検討し定義する</p>

	<p>事前学修：前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：これまでの学修内容を振り返り、理解が不足している課題について理解を深める 備考：岡村</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	<p>到達目標1については、課題資料及びプレゼンテーションの内容（2～11回の5課題×15%）75%にて評価する。 到達目標2については、12～15回の課題資料15%、プレゼンテーションの内容10%にて評価する。</p>
テキスト	<p>随時、資料を提示しながら進めるとともに、必要な書籍・文献等は授業内で案内する。</p>
参考図書・資料等	<p>適宜紹介する。</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>初回開講時に説明する。</p>
教員からのメッセージ	<p>授業のプロセスを通して、自己の課題を探索していきましょう。</p>
オフィスアワー	<p>事前にメール等にて問い合わせる。</p>